

2025年3月18日

各 位

会 社 名 株式会社オリエントタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 橋 義 規
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエントタルコンサルタンツグローバル パプアニューギニア ナザブ・トモダチ国際空港 保守点検に SOCOCA を導入 設計・施工監理からメンテナンスまで継続した支援

2024年12月、当社グループの事業会社である株式会社オリエントタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二 以下：OC Global）を幹事とする共同企業体が詳細設計、入札支援、施工監理等のコンサルタント業務を実施したパプアニューギニア国ナザブ・トモダチ国際空港（以下 ナザブ空港）において、地図情報クラウドサービス SOCOCA のサブスクリプション契約が締結されました。

SOCOCA とは、当社グループの事業会社である株式会社リサーチアンドソリューション（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：清見光生）が開発したもので、インフラメンテナンス、災害情報収集等の用途のツールとして、OC Global のフィリピン現地法人オリエントタルコンサルタンツフィリピン（OC フィリピン）がフィリピンを中心に展開しています。また、日本国内では空港メンテナンス用途で、南紀白浜空港や鳥取空港などで活用されています。

ナザブ空港は2023年10月に開港し、空港保守点検は現地政府が行っていますが、今後は SOCOCA を通して、引き続き OC Global が支援をしていくことになりました。

【関連リンク】SOCOCA 紹介ページ <https://www.rands-co.com/lp/sococa.html>

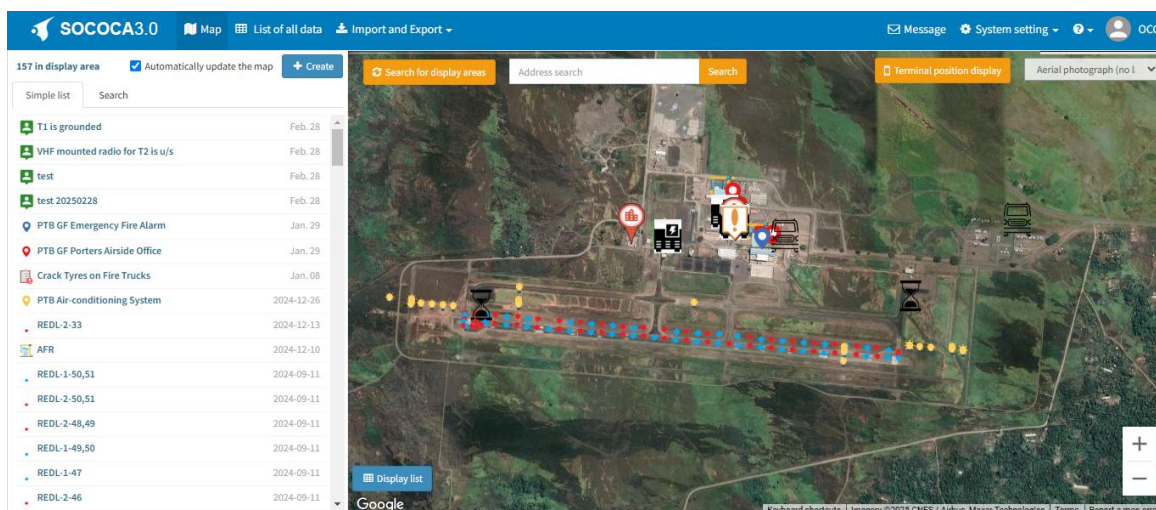
SOCOCA Animation Video <https://www.youtube.com/watch?v=CdHcZVD65i4>



ナザブ・トモダチ国際空港



SOCOCA



ナザブ空港で使用されている SOCOCA の画面

ナザブ空港はパプアニューギニア第二の都市レイに位置し、首都ポートモレスビーからの人や物の輸送が多く、同国の重要なインフラ施設です。政府開発援助（ODA）にて、古くなっていた滑走路舗装や、空港保安設備、空港灯火などが新設され、既設滑走路の拡張、既設誘導路の拡張と新設、駐機場の拡張、航空灯火の機能向上、旅客ターミナルビル（鉄骨造2階建て延べ約1万740平方メートル）・駐車場の新設を中心とした新ターミナルの整備を行われました。これに伴い、今までの保守点検に関しても見直されることになりました。

当該空港はエンジニアの数が限られているため、機械の不調のたびに、首都ポートモレスビーからエンジニアが出張しており、また、紙ベースの点検作業のため過去の記録が残っておらず、機械の故障の原因や事前予防ができていませんでした。新設された空港設備、滑走路が今後も安全に利用されるために、DX技術を用いた点検業務の導入と効率化が現地政府より求められていました。SOCOCAを用いることで、スマホを用いた点検作業が可能になり、点検調査のデータベースへの蓄積、写真や位置情報などの詳細な状況をリアルタイムで関係者への共有が可能になりました。ODAの枠を超えて、ナザブ空港へのインフラメンテナンスの支援が引き続き行われることとなります。

OC Global はインフラの補修技術を移転すると同時に、DX技術を活用して維持管理の支援をしていくことで、同国のインフラがより長く安全に使用し続けられるよう支援しています



以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
担当 広報室 富田早季

TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020

[URL: www.ocglobal.jp](http://www.ocglobal.jp)